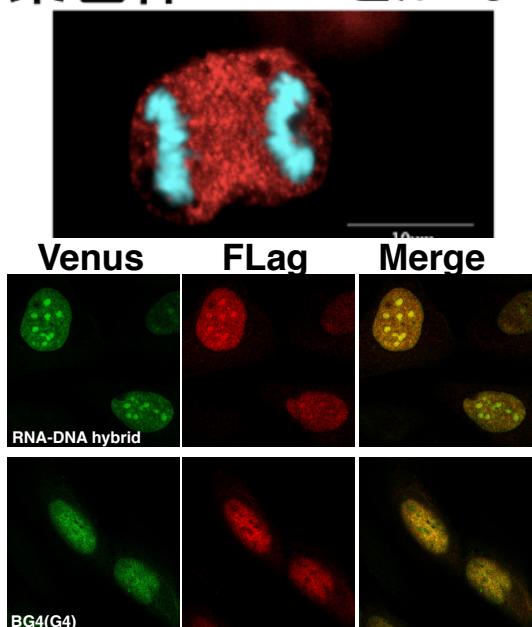


卒業研究・大学院進学を希望される学生さんへ



公益財団法人 東京都医学総合研究所
ゲノム動態プロジェクト
正井久雄

染色体・DNAとがん



私たちの研究の目標は、DNA複製などの染色体の機能や変動の詳細なメカニズムを解析し、そのプロセスの異常のがん細胞や種々の疾患発症への関与を解明することです。これら研究からグアニン4重鎖など核酸が形を変えることにより、重要な役割を果たすことを発見しました。私たちの研究は、ゲノム複製・転写・修復や核内染色体構造を制御するゲノムの新しい原理の解明と、がんを含む種々の疾患の診断、治療の新規戦略の開発へつながります。

Progress Report Meeting : 毎月最初の月曜 研究室見学 : いつでもご連絡の上訪問してください

連絡先 : 電話03-5316-3220 所長室

E-mail: masai-hs@igakuken.or.jp

<http://www.igakuken.or.jp/genome/>

ゲノム動態

検索

でYahoo検索
最初にでできます。
[詳細ページへ](#)

あるいは

正井久雄

検索

●交通案内

京王線「上北沢駅」(各駅停車)より徒歩10分

公益財団法人 東京都医学総合研究所

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2丁目1番6号



正井久雄研究室の主要な研究課題 「DNA複製の普遍的メカニズムとゲノムを制御 する新しい原理の解明から発がん機構へ」

受け入れ可能人数
数名可能

研究材料

マウス、動物細胞(ヒトがん細胞・正常細胞、ES細胞、MEF細胞など)、酵母、大腸菌など

卒業研究及び引き続く修士課程研究に可能なテーマ

- 1 グアニン4重鎖構造とRNA-DNAハイブリッド構造に依存するDNA複製開始の普遍的メカニズムの解明
- 2 グアニン4重鎖構造とRNA-DNAハイブリッドのゲノム上プロファイル、ダイナミクスの解明、蛍光分子を用いてG4の検出 (ChIP-seq, Cut & Run)
- 3 グアニン4重鎖構造とその結合因子の構造の解明、核膜近傍に形成するクロマチン高次構造形成過程と意義の解明
- 4 種々の生体ストレスが、複製障害を誘導し発がんを誘導するメカニズムの解明、治療薬への応用
- 5 乳がんの発症メカニズムの解明
- 6 複製因子や、複製ストレスチェックポイントメディエーターの免疫血球系細胞、脳神経系細胞の分化、機能発現制御における未知の役割の解明